



ます。

ある日本人の名字は息ができないほど美しいと感じさせます。私が一番きれいだと感じるのは、星に、野原の野で『星野』です。

私は、自分に日本人の名字をつけるなら、この名字にしたいと思っています。夜、空を見上げるとたくさん星が降っている情景が目には浮かびます。まるで「君の名は。」に出てくるシーンが名字になったようです。

また、一番面白いと思う名字は、『飯島』です。もしその島で暮らしたら、ご飯に一生困らないのかなと思うと、そこに住んでみたらし、とても面白いです。

どうして日本人の名字は自然に関する物が多いのか、わたしは疑問が解けなくて先生に日本人の名字の由来を尋ねました。

そしたら先生は、「もともと昔全ての日本人が名字を持っていたわけではありません。明治時代になってから、当時の政府がすべての国民が名字を持つことを法律で決めた」と

いうことを教えてくださいました。

それまで名字を持っていたのは武士や貴族  
だけでした。これまでずっと名字を持ってい  
なかつた民間の人々は、突然名字を付けなけ  
ればならないといわれてもどんな名字を持て  
ばいいのかわかりません。人々は慌てました。  
そこで多くの人々が地名や地形から自分の  
名字をつけました。

きれいな水が湧いているところを「清水」、  
近くに大きな杉の木があるから「大杉」、他に  
も自分が住んでいる方角によってつけられた  
名字もたくさんあります。

名字の由来を知った後から、日本人との自  
己紹介で相手の名字を聞いたとき、思わずそ  
の人の祖先がどこに住んでいたのか推測する  
ようになりました。

私は日本人の名字も日本文化の一つである  
と思います。今は日本語と日本文化を深く理  
解しようとしているところです。日本の名字  
は、つい見逃してしまいそうなほど身近な文

